

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ	医学専門情報	
タイトル情報	論文の英語タイトル	Serological markers for melanoma	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MM-CQ5-1	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (I)	
	Pubmed ID	10951131	
	医中誌 ID		
	雑誌名	Br J Dermatol	
	雑誌 ID		
	巻	143	
	号	2	
	ページ	256-68	
	ISSN ナンバー		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2000 年 2 月	
著者情報		氏名	所属機関
	筆頭著者	Brochez L	Gent 大学皮膚科
	その他著者 1	Naeyaert JM.	同上
	その他著者 2		
	その他著者 3		
	その他著者 4		
	その他著者 5		
	その他著者 6		
	その他著者 7		
	その他著者 8		
	その他著者 9		
	その他著者 10		

レビュー研究の 6 項目	目的	メラノーマの血清腫瘍マーカーの文献的レビュー
	データソース	1981 年～1991 年の Medline 検索
	研究の選択	記載なし
	データ抽出	記載なし
	主な結果	各種のサイトカインおよびその受容体、細胞接着分子, S100 蛋白 melanoma inhibitory activity(MIA), neurone-specific enolase (NSE) , メラニン代謝産物、脂肪結合シアル酸、組織特異的 RT-PCR 反応などがメラノーマの血清腫瘍マーカーとして報告されている。しかし、これらは一般に進行期の患者血清でのみ異常値を示す。また、進行期例における陽性率も 100%ではなく、病期分類にも用いることはできない。ただし、いくつかのマーカーは予後因子となる可能性がある。
	結論	現在知られているメラノーマの血清腫瘍マーカーの臨床的有用性は限られているが、いくつかのマーカーは予後の予測や患者の層別化に役立つ可能性があり、さらなる検討が必要である。
	備考	文献整理番号：メラノーマ Q6 文献番号 1
レビューワーコメント	レビューワー氏名	高田 実
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類 (I) 2000 年の時点ではあるが、メラノーマの血清腫瘍マーカーについて網羅された優れた総説。厳密なものではないが、MEDLINE 検索しておりシステマティックレビューに準ずるものと考えた。本レビューにおいて腫瘍マーカーの意義は肯定されていない。